# 自然学習講座

テーマ：地面に落ちたうんこはどうなる？～うんこが育む豊かな自然～

日　時：令和8年10月18日(日)午前10時から12時まで(雨天決行)

**講　師：**伊沢正名氏 (糞土師)

参加費：無料　　定員：30人(小学生以上)

**受付開始：**令和8年9月11日（金）

集　合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受　付：令和8年9月22日(火)までWeb・電話で受付。応募多数の場合抽選。



様々な生物が利用するうんこについて、その価値と物質循環について学びます。

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
※ 小学3年生以下は保護者同伴。

# イベント・ガイドウォーク

## 第12回 かわせみフェスティバル　10月4日(日) 10時～15時

生きもの観察会やクラフト体験、カワセミが生息する他の公園の紹介や地元の施設によるポスター展示等を行います。会場は水元かわせみの里。





## ガイドウォーク　1回目　11時から30分間　2回目　13時30分から30分間

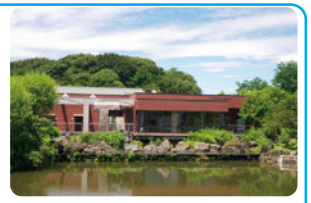
専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。
ボランティア活動日はボランティアさんが野草園を案内します。





# 水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和３０年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



- 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)
- 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)
- お問合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201　東京都葛飾区水元公園8番3号
- 交通　京成バス

バス停の場所は、5ページの地図をご覧ください。

| | |
|---|---|
| 水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)<br>金町駅南口→水元公園→金町駅南口<br>水元かわせみの里下車　徒歩1分 | 金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口(金61系統)<br>水元五丁目 または 大場川下車　徒歩5分 |

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。

葛飾区公式HP　ブログ　Facebook　X（旧Twitter）



水元かわせみの里

# 水辺のふれあいルーム通信



令和8年　8月20日
（通算第233号）

**水元小合溜の生きもの：223**

## ヤブラン

キジカクシ科ヤブラン属
草丈 30cm～60cm
花期 8～10月

## 足元から夏を彩る ヤブラン

夏から秋にかけて、直径1㎝程の美しい淡紫色の花をたくさんつけます。花の中にはたくさんの甘い蜜があり、ハナバチの仲間やアリなどが蜜を吸いに来ている様子を観察することができます。花期が終わると、花1つに対し3個ほどの果実をつけます。果実は、果皮がとても薄くてすぐ脱落し、種子だけがむき出しの状態となって黒藍色に成熟するという変わった特徴を持っています。



△ヤブランの種子

## ヤブランだけど、ランじゃない？

名前に「ラン」と付いていますが、実はランの仲間ではありません。長く、つやのある葉っぱがランに似ていることと、藪のような薄暗い場所を好むことから「ヤブラン」と名付けられました。日本人との関わりは長く、古くから薬に使われたり、万葉集に詠まれたりしています。

# 発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、
お散歩隊が見つけて紹介します！



**8/15 モツゴ** アカムシなどを食べる。水面で採食することがあり、その際に水辺からパチパチという音が聞こえる。



**8/15 ブルーギル** 北米大陸を原産とする特定外来生物。春から夏の繁殖期には、縄張り意識が強くなり、気性が荒くなる



**8/15 アカメガシワ** 黒紫色の種子には油脂分が含まれており、エネルギー源として鳥が食べに来る。



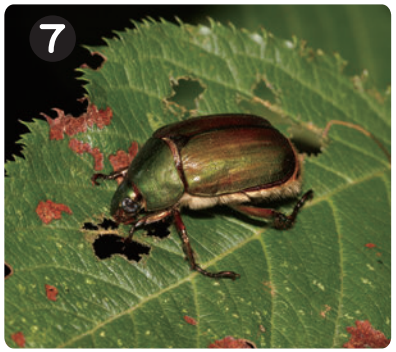
**8/15 ハナゾノツクバネウツギ** 別名アベリア。ベルのような花を咲かせる。スズメガの仲間が蜜を吸いに来ていた。



**8/15 オオフタオビドロバチ** 竹などの筒の中に獲物を貯蔵し、泥の仕切りで巣を作る。幼虫は中の獲物を食べて育つ。



**8/15 キバラヘリカメムシ** マユミやニシキギなどから汁を吸う。刺激すると、青リンゴのような爽やかな香りを放つ。



**8/15 アオドウガネ** 光沢のある緑色と腹部下面の毛が特徴的な甲虫。よく広葉樹の葉を食べている姿が見られる。



**8/12 オオバン** 水元公園では通常冬にみられる鳥だが、今年は1羽が夏も滞在している。長い脚を持つツルの仲間。



**8/15 クヌギハマルタマバチの虫こぶ** クヌギの葉の上にある虫こぶ。中に幼虫が入っており、独特な構造をしている。

## 専門員コラム「クヌギにできた玉のようなもの」のお話

夏真っ盛りの水元かわせみの里。シロテンハナムグリやコガタスズメバチ、ゴマダラチョウ…たくさんの昆虫がクヌギの樹液周辺を乱舞しています。そんな昆虫たちを観察していると、ふと近くの葉の上に玉のようなもの（⑨）がついているのに気が付きました。果実かなと思いつまむと、ポロッと取れて落っこちたため、気になって中を見てみると、白くて丸い中心体から外皮（？）に向かって棒状のものが多数伸びています。これは明らかに果実ではない！SF映画の培養水槽のような、見てはいけない世界を見てしまった気がしました。

後で調べてみると、どうやら「虫のしわざ」のようでした！「クヌギハマルタマバチ」という体長数㎜ほどのハチの仲間が、産卵のために針を刺すと、葉の一部が肥大化して玉のようなものを形成します。そして中心体の中にはこのハチの幼虫がおり、中身を食べて成長するようです。このような、植物組織で作られる造形物を「虫こぶ」といい、「クヌギハマルタマバチ」以外のハチやハエ、アブラムシなど多様な分類群にわたる昆虫が似たようなことをするようです。刺すだけで不思議な構造を作り出すタマバチのすごさに感心しました。

虫こぶには色々な形、構造の物があるようです。意外と簡単に見つかるので、ぜひ小さな虫たちの作品を探してみてください。（稲場）




● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

# ボランティア活動報告

## 施設入口の徒長枝の剪定を行いました。

ボランティア活動で、施設入口に植栽されているウバメガシやシャリンバイ、その他ツル植物の剪定作業を行いました。夏はとくに植物が生い茂る時期なので、通路のスペース確保のためや、徒長枝で他の植物が覆われて弱ることのないよう、こまめに植栽管理を行っています。




通路に徒長してきた枝をはじめ、上部に徒長している部分も、すぐ近くのネムノキ等の樹木への被度を考慮し、剪定して高さを抑えるようにしました。

## ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方個々人が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容　水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境･緑化フェアなどへの参加
■募集期間　随時募集しています
■対　　象　18歳以上の方(原則)
■活 動 日　月4回程度(定例活動日　第１、３土曜日、第２、４木曜日)
■申し込み･お問い合わせ　水元かわせみの里　03(3627)5201



# 学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。
総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

**総合的な学習の時間**




水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

**職場体験受け入れ**




施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生きものの調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

**自由研究の補助**




水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

**その他、主な団体利用の内容**

- 生物関係のクラブ活動の補助
- 大学、専門学校の実習の受け入れ
- 福祉系団体への自然解説
- 歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。
※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里　03-3627-5201)まで。

# 野草園だより　見頃の生きもの 8月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。
様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

8月の見頃

## アケビコノハ



アケビ類の葉を食べて育つガの幼虫です。静止時に写真のような姿勢を取ります。これは背中の黄色い目玉模様をみせつけ、捕食者を驚かせるためとされています。
野草園では、園路沿いの柵に巻きついているミツバアケビの葉でよく見られます。葉の裏に隠れているので、葉をめくって探してみてください。

